第１回　穂高広域施設組合　新ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会
会 議 概 要

１　委員会名	第１回　穂高広域施設組合　新ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会
２　日　　時	平成 28 年 11 月 30 日（水）　13：30～
３　会　　場	安曇野市役所本庁舎　3 階共用会議室 307
４　出 席 者	堀尾委員長、小林副委員長、高村委員、野本委員、平林委員、村上委員、藤澤委員
５　事 務 局	宮澤管理者、白澤次長、浅川係長、佐々木係長、加藤係長、笹係長、二條係員
（一般財団法人	日本環境衛生センター）藤原、疋田、川緑、岡田
６　公開・非公開の別	非公開
７　傍聴人　０人	記者　０人
８　会議概要作成年月日	平成 29 年 2 月 16 日

協　議　事　項　等

１　会議の概要
（１）開会
（２）委嘱書の交付
（３）管理者挨拶
（４）出席者自己紹介
（５）正副委員長の選任
（６）委員長挨拶
（７）議事
　１）実施方針（案）について
　２）今後の事業者選定スケジュールについて
　３）要求水準書（案）について
　４）その他
（８）閉会

２　協議概要

（１）開会

事務局にて、開会。

（２）委嘱書の交付

管理者より、委員へ委嘱状を交付した。

（３）管理者挨拶

管理者より、挨拶を行った。本委員会及び委員名については、非公開で行う旨、説明があった。

（４）出席者自己紹介

出席者より、自己紹介を行った。

（５）正副委員長の選任

事務局にて、新ごみ処理施設整備・運営事業者選定委員会設置要綱の説明を行った。

委員長は、事務局の提案により、堀尾委員

副委員長は、委員長の推薦により、小林委員に決定

（６）委員長挨拶

堀尾委員長より、委員長挨拶を行った。

（７）議事

１）　実施方針（案）について

事務局より資料１　実施方針（案）について説明

委員・・ごみ焼却施設規模については、120t/日と設定している一方、年間計画処理量によって、施設規模を提案するとしている。事業者が施設規模を提案する際に、焼却施設の稼働日数は自由に設定できるという理解で良いか。

事務局・ご理解のとおりであるが、各委員からの意見を伺った上で、要求水準書等へ反映する方針である。

委員・・エネルギー回収率は電力だけという理解で良いか。

事務局・エネルギー回収率は電力と熱供給の合計値となる。

委員・・一般廃棄物の木くずの受け入れについて、記載がないがどのように考えているか。

事務局・新施設では可燃性粗大ごみの受け入れも対象としており、質問のとおり木くずも処理対象物と考えている。

委員・・事業者選定スケジュールについては、短縮が可能であるならば検討を頂きたい。

事務局・委託業者と協議を行い、スケジュールの短縮化を検討する。

委員・・委員名は非公開については了承するが、公務上、事業者または関係者と接する機会がある。その際、どのような対応が良いか。

事務局・本事業には関知していないという形で対応いただきたいと考えている。

委員・・実施方針の中では、30 年間のプラント使用を考慮して設計を行うと記載している。一方、運営委託期間は 20 年間となっているが、どのように解釈すれば良いか。

事務局・一般的なごみ焼却施設の耐用年数及び他都市の事例を踏まえ、施設の使用期間は 30 年を想定しているが、運営期間が 30 年間となった場合は不確定要素も大きくなるため、運営期間を 20 年間と設定した。

２） 今後の事業者選定スケジュールについて

委託業者より資料２　事業者選定スケジュール（案）、資料３　事業者選定委員会スケジュール（案）について説明

委員・・事業者選定スケジュールの短縮化については、どの程度可能なのか。

事務局・事業者側の技術提案書作成にかかる作業量を減らすことでスケジュールの短縮化は望めるが、現時点のスケジュールは資料２、３のとおりである。

委員・・視察した施設では、資格審査を合格した事業者に対して、提案報奨金を渡している例もある。導入の余地について検討頂きたい。

３） 要求水準書（案）について

事務局より資料４　要求水準書（案）について説明を行った。

委員・・過去の DBO 事業の事例を基に参考資料の提示について事務局には検討頂きたい。

４） その他

事務局より第2回事業者選定委員会は平成29年2月21日午後1時30分から、第3回事業者選定委員会は平成29年3月29日午後1時30分から､場所は穂高クリーンセンターし尿処理施設2階会議室にて開催する旨を伝達した。

（８） 閉会

以　上